

# 廃ばちんこ処理月1.7万台へ

リサイクルテック・ジャパン

## 今後はリユースに注力

リサイクルテック・ジャパン(名古屋市長、高取美樹社長、☎052・389・2277)は廃ばちんこ台やスロット台の処理について、月間1万7000台に達した。受け入れた台は、それぞれ

のラインで手解体し各種素材に分別。今後は部品類のリユースに注力していく。同社は2003年から廃ばちんこ台の受け入れを開始。04年1月16日遊技機リサイクル推進委員

会からリサイクル業者の選定を受けている。使用済み台や廃棄台はメーカーから受け入れ、それぞれラインで解体、分別する。解体部分が細かく多量なばちんこ



工場のような

台は、回転式や縦スライドラ式など独自のライン設計で、回転式や縦スライドラを粗破砕する。廃ばちんこは、回転式や縦スライドラを粗破砕する。廃ばちんこは、回転式や縦スライドラを粗破砕する。廃ばちんこは、回転式や縦スライドラを粗破砕する。

計を行なう種類別に分別し、原料として国内外ルートで再生利用する。今後について、「適正処理にとまらず、各メーカーの意向にそった資源・原料供給及びリユース会社へと発展させていきたい(高取社長)」としている。電子部品のほか、液晶部分は出荷時に検査できる体制を整えるなど、リユースを推進していく考えだ。

### 環境管理 ビジネス

第14回

医療系廃棄物容器のNGを販売している。販売を主力とするEM 同社が発行する「エムシービー」

#### エムシービー

## バーコード付マニフェストで管理

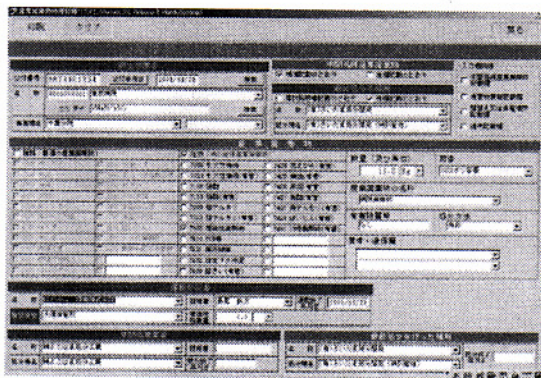
シービー(東京支店) 東京・中央、☎03・35367・7730

ド付きマニフェストに連動したシステムで、現在工場系・医療系の収運・処理業者を中心にした多数の納入があり、売上を着実に伸ばしている。同社では、マニフェ

ストの移動を排出、収運、処理業者が正確に把握することで適正に管理が担保できるとしている。特に収集運搬業はドライバーの離職率が高く、収運および処理業から返却されるマニフェスト管理に関して、経営者は従業員

るので、ドライバーは少ない教育時間で適正なデータ登録ができるようになる。各票にもバーコードが印刷されているので、返送漏れも未然に防ぐことができる。また、ハンディターミナルでデータを処理

教育に頭を悩ませることが多い。WINGでは、ドライバーがハンディターミナルでマニフェスト交付番号、顧客番号、顧客ごとの廃棄物の種類を台帳から読取りでき



マニフェストデータ表示画面

業者の事務所のパソコンに転送されるので、業務の迅速化、正確な処理内容をリアルタイムで把握ができるようになる。マニフェストのデータを活用した請求書発行や行政報告書

類の作成も可能だ。また、5月にバーコード付きマニフェストの特性を活かした新商品として、マニフェスト販売を目標としている。